

# 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門ミニシンポジウム

## コンクリートの非破壊試験の展望

### ～材料特性の理解と技術の現在地～

主催：(一社) 日本非破壊検査協会 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門

協賛：(公社) 土木学会, (一社) 日本建築学会, (一社) セメント協会, (公社) 日本コンクリート工学会, (公社) 日本材料学会, 全国生コンクリート工業組合連合会, (国研) 土木研究所, (国研) 建築研究所, (一社) 日本社会基盤安全技術振興協会, (一社) 日本非破壊検査工業会, (公社) 腐食防食学会, (公社) 日本鉄筋継手協会, (一社) iTECS 技術協会, (一社) 建設コンサルタンツ協会, (一社) 日本赤外線サーモグラフィ協会, 日本建築仕上学会, (一財) 建築保全センター, (一財) 建材試験センター, (一財) 日本建築総合試験所

※ (公社) 土木学会の CPD 対象プログラム (3.4 単位)

※ (一社) 全国土木施工管理技士会連合会の CPDS 対象プログラム (2 ユニット)

#### 【開催主旨】

コンクリートの非破壊試験は、建設インフラのメンテナンスに不可欠な技術であります。しかし、鋼材等と比較するとその適用は進んでいないと思われることがあります。これは、非破壊試験を適用する上で、コンクリートに特有の複雑さがあることによるものです。鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門 (RC 部門) は、この課題に長年取り組み、適用可能な試験方法を規格化によって確立してきました。2026 年 3 月に発行された機関誌「非破壊検査」では、特集号が企画され、第一部「なぜコンクリートは非破壊試験を難しくするのか」で材料特性を深く掘り下げ、第二部「規格から現場まで：コンクリート構造物への非破壊試験の貢献」で具体的な適用方法と貢献事例が解説されました。今回のミニシンポジウムは、この特集号の貴重な知見をさらに深掘りするため、この特集号の執筆者の皆さまに直接ご講演頂き、さらに、RC 部門のこれまでの活動を振り返ることを目的として開催するものであります。

本シンポジウムは、コンクリート構造物の維持管理における非破壊試験の発展に寄与することが期待されます。

【日時】 2026 年 5 月 28 日 (木) 13:00~17:00

【会場】 (一社) 日本非破壊検査協会 亀戸センター 6 階

東京都江東区亀戸 2 丁目 25-14 京阪亀戸ビル 6 階 (受付 6 階)

※学生限定で Web 参加が可能です。

【参加費】

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録団体会員	無料
鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録個人会員	
建設インフラ部門登録団体会員	
建設インフラ部門登録個人会員	
講演者	
学生	
上記以外の方	2,000 円
懇親会	5,000 円

【申込方法】 協会ホームページ(<https://sciences.jsndi.jp/rebar/>)からお申し込み願います。

※学生限定で Web 参加が可能です。申込時の「通信欄」に“WEB 参加”とご記載  
ください。

【プログラム】 ※予定

総合司会 岩野聡史 (リック株)

●開会挨拶 13:00~13:05

澤本武博 (ものづくり大学・RC 部門主査)

●講演<第一部>なぜコンクリートは非破壊試験を難しくするのか? 13:05~14:05

①複合材料であり、使用材料や施工条件によって性質が異なるため

小林幸一 ((一社)セメント協会)

②表面アプローチ非破壊試験の限界と非破壊試験(微破壊)の意義

湯浅昇 (日本大学)

③コンクリート中の水分の効果と影響

今本啓一 (東京理科大学)

～休憩～ 14:05~14:20

●講演<第二部>規格から現場まで:コンクリート構造物への非破壊試験の貢献 14:20~15:50

①NDIS 制定状況と非破壊試験で何を知ることができる?

渡辺健 (徳島大学)

②建設・竣工時の検査で活躍する非破壊試験

濱崎仁 (芝浦工業大学), 森濱和正 (ものづくり大学)

③維持管理で活躍する非破壊試験～歴史的構造物での適用事例～

佐藤大輔 ((株)コンステック)

④維持管理で活躍する非破壊試験～土木・橋梁での適用事例～

岩野聡史 (リック株)

～休憩～ 15:50~16:05

●意見交換会 16:05～16:55

～「鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門」のこれまでと「建設インフラ部門」のこれから～

【座長】澤本武博（ものづくり大学・RC 部門主査）

【パネリスト】湯浅昇（日本大学・RC 部門元主査）

今本啓一（東京理科大学・RC 部門元主査）

渡辺健（徳島大学・標準化委員会 RC 専門別委員会委員長）

大野健太郎（東京都立大学・教育委員会 RC 専門委員会委員長）

<内容>

研究委員会活動，部門講演会，さらに規格制定活動と活発な活動を継続して実施してきた「RC 部門」が幕を閉じ，新たに「建設インフラ部門」へと移行されていきます。これまでの部門の足跡を振り返りつつ，コンクリートの非破壊試験の役割を担う新部門の活動内容について，意見交換を行います。

●閉会挨拶 16:55～17:00

池永博威（千葉工業大学名誉教授・RC 部門元主査）

※懇親会を 17:15～ 亀戸センター 6 階で開催します。